

報告事項カ

平成26年度第1回船上山少年自然の家・大山青年の家運営委員会について

平成26年度第1回船上山少年自然の家・大山青年の家運営委員会について、別紙のとおり報告します。

平成26年10月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度第1回船上山少年自然の家・大山青年の家運営委員会について

社 会 教 育 課

「船上山少年自然の家」及び「大山青年の家」については、平成24年度に実施された事業棚卸しで「[改善継続] 指定管理制度の導入を含めて、運営のあり方を抜本的に検討すべき」と評価を受け、平成25年度に、学識経験者、民間、学校、市町村等の代表からなる「運営委員会」を設置して施設の運営や事業内容について検討を行い、意見をいただきました。

平成26年度は、さらに広く意見を聴取するため、県民アンケートや学校関係者へのアンケートを行いました。

これらの結果を踏まえて運営のあり方を検討するため、第1回運営委員会を開催しましたので、概要について報告します。

1 日程及び開催場所

船上山少年自然の家 運営委員会	大山青年の家 運営委員会
平成26年9月30日(火) 14時30分～16時30分 (開催場所) 船上山少年自然の家	平成26年10月3日(金)14時30分～16時30分 (開催場所) 大山青年の家

2 概要

施設の視察・概要説明の後、今後の検討課題等について協議を行った。

【検討課題】

- ・施設が取り組むべき新たな課題について
- ・新たな視点に立った施設の管理運営について
- ・当面取り組むべき課題について

【主な意見】

(学校との関わりについて)

- ・宿泊体験学習など、学校と一緒に取り組む事の重要性がある
- ・体験学習では、普段の学校生活では見られない子どもたちの姿が見られる
- ・子どもだけでなく、教員に対する効果にも注目したい

(管理運営について)

- ・県民目線での運営をすべき
- ・外部委託など、出せるものは出していくべき

(その他)

- ・教育効果は測定しづらいが、自然体験の効果を測定する方法がないか検討してほしい
- ・事業棚卸しの内容を再チェックし、出された意見を再整理すべき

3 今後の予定

今後、年度内に概ね3回運営委員会を開催し、運営委員会としての意見を取りまとめる。

4 委員の構成

船上山少年自然の家 運営委員会		大山青年の家 運営委員会	
氏名	役職等	氏名	役職等
大谷 直史	鳥取大学大学教育支援機構 教員養成センター准教授	小野 達也	鳥取大学地域学部 地域政策学科教授
荒川 昌代	賀露地区公民館職員	遠藤 量	県西部地区社会教育主事 OB会顧問
竺原 晶子	上小鴨地区青少年育成協議 会会長	湯浅 厚子	米子市子ども会連合会会長
山岸 正明	日本ボーイスカウト鳥取連 盟理事	角 千春	鳥取県ふうせんバレーボ ール協会会長
青山 哲尚 (欠席)	青山車両(有) 整備工場社長	船越 元熙 (欠席)	経営コンサルタント
西川 孝一	達人ネットワーク(有) 取締役社長	野嶋 功	北条レンタカー経営者
中本 久美子	琴浦町立船上小学校長	手嶋千恵里	南部町立会見第二小学校長

(参考) 県政参画電子アンケート及び学校関係者アンケートの実施結果

(1) アンケートの概要

①平成26年度第8回県政参画電子アンケート『青少年社会教育施設のあり方について』

- ・期間 平成26年7月18日(金) ～ 8月6日(水) 17:00まで
- ・対象及び回答数 一般県民及び県政参画電子アンケート会員 372名

②学校関係者アンケート(学校アンケート)

- ・実施時期 平成26年7月～8月
- ・対象及び回答数 小・中・高・特別支援学校 180校

(2) アンケートの結果

①船上山少年自然の家、大山青年の家に今後期待すること(3項目を選択)

今後期待すること(回答数の多かったものを抜粋して記載)	電子アンケート (人)		学校アンケート (校)	
	人数	割合	人数	割合
(ア)児童生徒の自然体験活動などを指導できる指導員の配置・充実	218	59%	160	89%
(イ)学校の諸問題(不登校など)に対応した体験活動を指導できる指導員の配置・充実	97	26%	93	52%
(ウ)幼児期から高齢者まで年代に応じた自然体験活動の充実	203	55%	72	40%
(エ)体験型教育旅行(修学旅行など)の宿泊体験施設としての活用	122	33%	29	16%
(オ)農村等での長期滞在型の自然体験活動(グリーンツーリズム)などの宿泊体験施設としての活用	126	34%	20	11%
(カ)指導員の能力を生かした、高齢者福祉施設や子ども会など施設外への指導員の派遣(レクリエーション、おやつ作りなど)	80	22%	52	29%

※割合は総数(372人、180校)に占める割合を記載

②船上山少年自然の家、大山青年の家の運営方法について

運営方法	電子アンケート		学校アンケート	
	人数	割合	人数	割合
(案1)現在と同様、県直営で運営する。	167	45%	137	76%
(案2)民間事業者等に委託する	160	43%	24	13%
(案3)その他	41	11%	18	10%
未回答	4	1%	1	1%